# 施策評価シート（ 令和3　年度の振り返り、総括）

| 作成日 | 令和4 年　04月　04日 |
|---|---|

| 施策 No. | 7 | 施策名 | 文化芸術の振興と文化財の保護・継承 |
|---|---|---|---|
| 主管課名 | 文化課 | 電話番号 | 0285-83-7732 |
| 関係課名 | 文化課　生涯学習課 | | |

## 1. 計画（Plan）

| 施策の対象 | 1）市民　2）文化財の管理者・継承団体等 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 対象指標名 | 単位 | 令和2 年度実績 | 令和3 年度実績 | 令和4 年度実績 | 令和5 年度実績 | 令和6 年度実績 | 令和6 年度見込 |
| 人口 | 人 | 78,995 | 78,592 | | | | |
| 指定・登録文化財数 | 件 | 226 | 226 | | | | |
| | | | | | | | |

| | |
|---|---|
| 施策の目標 | 文化芸術活動の推進により、市民だれもが文化芸術に触れ親しみ学ぶ機会を拡充する。<br>文化財の適切な保存管理と伝統文化の継承をする。 |
| 成果指標設定の考え方及び指標の把握方法（算定式など） | 文化芸術活動推進について<br>・市民会館利用者・市民会館利用人数は、指定管理者月例報告より把握する。<br>・文化協会会員数は、総会時加入団体から報告された人数。<br>・久保記念観光文化交流館美術品展示室と久保資料室、まちかど美術館はそれぞれ入場者数とする。<br>（文化財の保護・継承については、指定・登録文化財や地域の伝統文化など既にあるものを保存継承していくことが目標であるため、総合計画策定において個々の成果目標は設定されなかった。） |

| 成果指標名 | | 単位 | 平成30年度基準値 | 令和2 年度 | 令和3 年度 | 令和4 年度 | 令和5 年度 | 令和6 年度 | 令和6 年度目標値 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 市民会館利用人数 | 目標値 | 人 | 89,068 | 90,856 | 92,642 | 94,428 | 96,214 | 98,000 | 98,000 |
| | 実績値 | | | 15,657 | 35,423 | | | | |
| 文化協会会員数 | 目標値 | 人 | 2,130 | 2,144 | 2,158 | 2,172 | 2,186 | 2,200 | 2,200 |
| | 実績値 | | | 1,975 | 1,749 | | | | |
| 文化協会加入団体数 | 目標値 | 団体 | 131 | 131 | 133 | 135 | 137 | 140 | 140 |
| | 実績値 | | | 118 | 102 | | | | |
| 久保記念観光文化交流館美術品展示館入場者数 | 目標値 | 人 | 16,553 | 17,242 | 17,931 | 18,620 | 19,309 | 20,000 | 20,000 |
| | 実績値 | | | 2,909 | 6,920 | | | | |
| 久保記念観光文化交流館久保資料室入場者数 | 目標値 | 人 | 17,138 | 17,710 | 18,282 | 18,854 | 19,426 | 20,000 | 20,000 |
| | 実績値 | | | 3,137 | 7,246 | | | | |
| まちかど美術館入場者数 | 目標値 | 人 | 2,579 | 2,661 | 2,748 | 2,832 | 2,916 | 3,000 | 3,000 |
| | 実績値 | | | 386 | 761 | | | | |
| | 目標値 | | | | | | | | |
| | 実績値 | | | | | | | | |

| | |
|---|---|
| 施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担 | ・市民は、自ら積極的に文化芸術に興味を持ち活動する。地域の歴史や文化への理解を深め、文化財を保護継承することの大切さを認識する。<br>・行政は、文化芸術活動の企画運営、環境整備を行う。また、文化活動を担う人材、文化団体の育成支援を行う。文化財所有者（管理者）等が実施する保存管理や事業について指導助言を行い、文化財の保護や啓発機会を提供するための環境を整備する。 |

## 2. 実行（Do）→個別事務事業の実施による（事務事業マネジメントシート参照）

## 3. 検証・評価と今後の方向性（Check&Action）

**（１）施策目標達成に対する要因分析と課題（①構成事業が与えた影響、②外的要因を踏まえて検証）**

・市民会館利用人数については、令和２年度と比較すると約２．３倍に増加したが、目標値の約３８％にとどまった。これは新型コロナウイルス感染症の影響により、令和３年４月から１０月まで、入館者定員の上限を５０％に制限したこと、８月初旬から緊急事態宣言期間にかけて約２カ月は、新規予約停止及び午後８時までの利用制限をしたこと等が主な要因と考える。今後も新型コロナウイルス感染症の流行状況を注視し、クラスター等を発生させないよう管理運営を徹底していくことが必要である。
・文化協会会員数、加入団体数については、減少傾向にあるが、従前より価値観の多様化や、高齢化の進展により会員数・団体数が減少傾向にあったことに加え、新型コロナウイルス感染症のまん延で団体としての活動や練習ができなくなった等の理由により、団体の解散や文化協会退会が相次いで生じた。課題としては文化協会への新規加入対策や加入団体の情報発信の方策である。
・久保記念観光文化交流館美術品展示館・久保資料室の入場者数については、令和２年度と比較すると、美術品展示館が約２．４倍、久保資料室が約２．３倍と増加したが、美術品展示館は目標値の約３９％、久保資料室は目標値の約４０％にとどまった。両施設とも、新型コロナウイルス感染症の影響により、緊急事態宣言期間における約４０日の休館や、開館時間の２時間短縮、入場者数の制限等が主な要因と考える。入場者数の増加対策が課題である。
・まちかど美術館の入場者数については、令和２年度と比較すると約２倍に増加したが、目標値の約２８％にとどまった。これは新型コロナウイルス感染症の影響により、緊急事態前言期間における約４０日の休館や、開館時間の２時間短縮、入場者数の制限等が主な要因と考える。入場者数の増加対策が課題である。

**（２）今後の方向性（（１）の要因分析を踏まえ、施策目標達成に向けた方針を示す）**

・市民会館については、指定管理者と連携を密にし、指定管理者が有する企画・運営力を活用し魅力ある事業を実施する。指定管理者と定期的に会合を持ち、管理運営上の課題を共有したうえ改善対策を実施することによって、利便性を向上させ市民が利用しやすい市民会館とすることで、市民会館を利用した市民の文化芸術の振興を図る。新型コロナウイルス感染症予防のガイドライン遵守の徹底を図り、安心して多くの発表会やイベントに利用されるように努める。
・文化協会新規加入対策として、市内で活動している文化協会未加入の文化団体等に対し、文化協会への入会を勧誘する。文化協会のホームページを拡充し、各団体の活動内容や会員募集案内を掲出するなど、文化協会の各団体の情報発信を支援していく。
・久保記念文化観光交流館美術品展示室・久保資料室については、魅力ある企画展やワークショップの開催等により入場者を増やすだけでなく、訪れた人が市内の施設を回遊できるよう散策マップを作成するなど、まちかど美術館等の施設と連携を深める。
・まちかど美術館については、魅力ある企画展やワークショップの開催等により入場者を増やすとともに、他の施設との連携を深める。３階の市民ギャラリー貸館制度について、各種市民団体等に周知し利用促進を図る。

## 4. 構成事業一覧（個別事務事業一覧）

| NO | 総重、総新<br>戦拡、戦新 | 事務事業名 | 担当 | 成果指標 | | | 評価結果 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 成果指標名 | 単位 | 令和3 年度実績 | 今後の方向性 |
| 1 | | 指定文化財修繕支援事業 | 文化課文化財係 | 国、県補助金を受け修繕された文化財の件数 | 件 | 3 | 現状維持 |
| | | | | 市補助金を受け修繕された文化財の件数 | 件 | 2 | 現状維持 |
| | | | | 新設、修繕した文化財解説板等の件数 | 件 | 2 | 現状維持 |
| 2 | | 無形民俗文化財保存育成支援事業 | 文化課文化財係 | 指定無形民俗文化財保存団体数 | 団体 | 9 | 現状維持 |
| | | | | その他の無形民俗文化財保存団体数 | 団体 | 6 | 現状維持 |
| | | | | 指定、その他の無形民俗文化財の後継者数 | 人 | 300 | 現状維持 |
| 3 | | 文化財保護啓発事業 | 文化課文化財係 | 歴史教室開催（参加者延べ人数） | 人 | 447 | 現状維持 |
| | | | | 文化財めぐり開催（参加者延べ人数） | 人 | 48 | 現状維持 |
| 4 | | 大内資料館管理事業 | 文化課文化財係 | 登録文化財大内資料館の適切な保存のための修繕 | 箇所 | 1 | 現状維持 |
| | | | | 敷地の適正管理のための樹木剪定、除草作業委託 | 回 | 21 | 現状維持 |
| | | | | 利用者数 | 日数・人数 | 25日・86人 | 現状維持 |
| 5 | | 金鈴荘管理運営事業 | 文化課文化財係 | 修繕により復元した箇所数 | 箇所 | 4 | 現状維持 |
| | | | | 見学者数 | 人 | 5808 | 現状維持 |
| | | | | 撮影等使用者数 | 人 | 270 | 現状維持 |
| 6 | | 桜町陣屋跡管理事業 | 文化課文化財係 | 見学者数 | 人 | 3964 | 現状維持 |
| | | | | 保存活用計画策定進捗状況 | % | 100 | 現状維持 |
| | | | | 報徳田活用イベント参加者数 | 人 | 540 | 現状維持 |
| 7 | | 真岡市美術展開催事業 | 文化課文化振興係 | 出品作品数 | 点 | 21 | 事業のやり方改善 |
| | | | | 開催日数 | 日 | 11 | 事業のやり方改善 |
| | | | | １日あたりの入場者数 | 人 | 33 | 事業のやり方改善 |
| 8 | | 真岡市文化祭開催事業 | 文化課文化振興係 | 文芸・展示部門出品数、将棋大会参加者数 | 点 | 1308 | 現状維持 |
| | | | | ホール部門出演演目数 | 演目 | 34 | 現状維持 |
| | | | | 入場者数 | 人 | 1044 | 現状維持 |
| 9 | | 真岡市音楽祭開催事業 | 文化課文化振興係 | 観客数（来場者＋動画視聴者） | 人 | 468 | 事業のやり方改善 |
| | | | | 参加者数(出演者＋運営スタッフ）スタッフは出演しない団体から | 人 | 456 | 事業のやり方改善 |
| 10 | | 真岡市文化協会運営補助事業 | 文化課文化振興係 | 文化協会加入団体数 | 団体 | 102 | 事業のやり方改善 |
| | | | | 会員数 | 人 | 1749 | 事業のやり方改善 |
| 11 | | 移動音楽鑑賞教室実施事業 | 文化課文化振興係 | 市内中学生のうち参加した中学生の割合 | % | 24.3 | 現状維持 |
| 12 | | 市民芸術鑑賞事業 | 文化課文化振興係 | 真岡市芸術鑑賞会会員数 | 人 | 409 | 現状維持 |
| | | | | 映画会来場者のうち会員の割合（1694人/2430人） | % | 69.7 | 現状維持 |

## 4. 構成事業一覧（個別事務事業一覧）

| NO | 総重、総新<br>戦拡、戦新 | 事務事業名 | 担当 | 成果指標 | | | 評価結果 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 成果指標名 | 単位 | 令和3 年度実績 | 今後の方向性 |
| 13 | | 子ども未来育成事業 | 文化課文化振興係 | 市内小中学校の内利用した学校数 | 校 | 5 | 現状維持 |
| | | | | 派遣回数 | 回 | 52 | 現状維持 |
| 14 | | 音楽文化振興事業 | 文化課文化振興係 | クラシック音楽鑑賞教室参加者数 | 人 | 209 | 現状維持 |
| | | | | 若手演奏家支援事業参加者数 | 人 | 142 | 現状維持 |
| 15 | | 美術品展示館・久保資料室運営事業 | 文化課文化振興係 | 美術品展示館入場者数 | 人 | 6920 | 現状維持 |
| | | | | 資料室入場者数 | 人 | 7246 | 現状維持 |
| 16 | | 栃木県立美術館収蔵品展（アートリンクとちぎ）事業 | 文化課文化振興係 | 入場者数 | 人 | 607 | 現状維持 |
| 17 | | まちかど美術館運営事業 | 文化課文化振興係 | 入場者数 | 人 | 761 | 現状維持 |
| 18 | | 美術館めぐり | 文化課文化振興係 | 開催回数 | 回 | 0 | 現状維持 |
| | | | | 参加者数 | 人 | 0 | 現状維持 |
| | | | | 募集人員に対する申込み者の割合 | % | 0 | 現状維持 |
| 19 | 総新 | ワークショップフェスタ・子ども美術館開催事業 | 文化課文化振興係 | ワークショップフェスタ参加申込者数 | 点 | 30 | 現状維持 |
| | | | | 子ども学芸員への申込者数 | 人 | 6 | 現状維持 |
| | | | | もおか子ども美術館会期中１日当たりの入館者数 | 人 | 32.8 | 現状維持 |